

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	大阪府教育委員会事務局市町村教育室地域教育振興課 電話： 06-6941-0351(内線3462)
----------------	--

1. 概要

事業名	識字推進事業(識字・日本語センターへの助成)
主催(共催)	主催:大阪府教育委員会/共催:大阪府人権協会、大阪市人権協会、識字・日本語連絡会、識字・日本語センター、大阪市
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	指導者養成講座、識字研究集会、識字・日本語啓発パンフレット等作成、識字文集文庫作成、識字の日の啓発、ブロック別交流会、よみかきこうりゅうかい、相談や情報提供
開催場所	府内各地
対象	市町村教育委員会、識字学級・日本語読み書き教室、府民
人権課題	人権全般、同和問題、外国人

2. 事業内容

(1)事業の目的 識字の状況は、時代とともに変化しており、同和地区住民を対象とした識字問題や障害者の識字問題及び在日韓国・朝鮮人を含めた識字問題、中国帰国者、難民等を含めた外国人の日本語学習問題がある。大阪府では、識字問題の解消をめざしさまざまな施策をおこなっている。具体的には、識字センター事業として、大阪府は①教材開発、②調査研究、大阪府人権協会は、③啓発、④情報の収集・提供、⑤指導者養成、識字・日本語連絡会は、⑥交流会の開催、⑦相談・情報提供と役割を分担している。とりわけ、大阪府をはじめ大阪市、大阪府人権協会、大阪市人権協会、識字・日本語連絡会の5者協働で運営している「識字・日本語センター」への助成は、本府の特色であり、そこでは識字・日本語学習の輪をさらに広げるために取り組んでいる。

(2)事業概要

・【よみかきこうりゅうかい】 府内の識字学級・日本語読み書き教室の学級生や指導者(パートナー)が一堂に会し、全体会、分散会を通じて交流を図る。分散会のテーマは、「作文でつながるひろば」「絵でひろがるこうりゅうのひろば」「歌とおどりのひろば」などで、よみ・かき・ことばの仲間と交流を深めた。

・【識字研究集会】 識字学級・日本語読み書き教室等において日々学習活動に関わっている人たちや研究者、担当者たちが課題をもちよって研究することで、現場に必要なものを探り、これからの学級(教室)の取り組みに生かす。

・【識字教材の作成】 府内の識字学級・日本語読み書き教室の学級生の作品を、絵本として教材化することで、各地の学級(教室)で活用している。

(2)-1 連携状況

協働)大阪府人権協会、大阪市人権協会、識字・日本語連絡会、大阪市

(2)-2 特色・工夫した点(広報の方法も含む)

識字・日本語センターは次のような機能をもっている。①「情報の集積」・教室さがし・教材さがしができる情報を提供している。②「交流・研修」・学習者が集まる交流会や、コーディネーターやパートナー(支援者)むけの研修会などの企画している。③相談・日本語の読み書きや会話の学習をしたい人たちの応えている。④「情報発信」・ホームページなどを使い、さまざまな情報を発信している。

(3)参加者の反応・事業の反響等

識字・日本語センターに相談に来られた日本語を母語としない外国人からは、「困っているところを、親切にアドバイスしていただいた」「紹介していただいた教室で楽しく日本語を学んでいる」などの声をいただいている。また、識字・日本語センターが提供した教材を活用している学級(教室)では、「学びの幅がひろがった」「学習者が熱心にとりくんでいる」という感想をもらっている。

(3)-1 反省点・今後の課題

大阪府では、大阪市や大阪府人権協会、大阪市人権協会、識字・日本語連絡会というように、官と民が協働でさまざまな識字推進施策を展開している。この機能と役割を集約するため、平成18年4月を目途に事業を「識字・日本語センター」に一元化する方向で動いている。実現すれば、今まで以上に官民協働をベースとした事業が展開できると期待している。